

令和4年度第2回国内における米空軍機からの降下訓練について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり降下訓練を実施する旨の情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、下記のとおり口頭要請を行っております。

記

1 国内における米空軍機からの降下訓練について

(1) 情報提供内容

別紙のとおり

(2) その他

- ・ 横田基地で降下訓練を行う陸自の人員を当該米空軍機に搭乗させ、玉城寺原演習場において人員降下訓練及び物料投下訓練を実施する。
- ・ 米空軍機から降下するのは陸上自衛隊員であり、米軍人の降下はない。
- ・ 参加規模：陸上自衛隊第1空挺団 約250名（降下人員は約180名）

車両 約25両

米空軍機 C-130J 2機

空自機 C-130H 1機

C-1 1機

C-2 1機

2 口頭要請内容

(1) 要請日

令和4年7月1日（金）

(2) 要請先

北関東防衛局長

(3) 要請内容

陸上自衛隊による国内における米空軍機からの降下訓練の実施に当たり、横田基地所属の航空機が使用されるとの情報提供がありました。

現在、東京都では新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、基本的な感染防止対策の徹底を呼びかけており、周辺住民においては、引き続き、学校・職場・自宅等での窓を開けての換気対策を実施しているため、航空機騒音等の影響が大きくなっております。貴職に置かれましては、このような状況を御理解いただき、訓練に関わる自衛隊に周知するとともに、米軍横田基地に申し入れるよう次の事項について要請します。

- 現在、東京都においては新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、基本的な感染防止対策の徹底等を実施しているが、横田基地においても感染の再拡大が懸念される。

訓練の実施に当たっては、基地周辺住民への影響がないよう感染予防対策について徹底して取り組むとともに、国の責任において、周辺住民に十分な説明をすること。

- 騒音が大幅に増加することがないように周辺住民に十分配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回訓練は行わないこと。
- 基地外に影響を及ぼさないよう安全対策に努めること。
- 通常の運用時間帯以外での航空機の運用を極力実施しないこと。

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



令和4年6月30日
陸上幕僚監部

令和4年度第2回国内における米空軍機からの降下訓練の概要について

陸上自衛隊は、島嶼部への攻撃を始めとする各種事態に実効的に対応するための能力の維持・強化を図るべく、以下のとおり令和4年度第2回国内における米空軍機からの降下訓練を実施します。

1 目的

米空軍機を活用して固定翼機からの降下回数の増加を図り、空挺作戦に必要な戦術技量の向上を図る。

2 期間

令和4年7月6日（水）～同年7月8日（金）

3 場所

王城寺原演習場及び米空軍横田基地

4 担任官

陸上総隊司令官 陸将 まえだ 前田 ただお 忠男

5 訓練実施部隊

第1空挺団

6 特色

- 令和4年度、第2回目となる国内における米空軍機を活用した降下訓練
- 王城寺原演習場において米空軍機からの降下訓練を実施
- 米空軍機からの軽物料投下を初めて実施
- 平素から実施している空自機からの降下訓練も同一の時期・場所で実施

7 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 本訓練に参加する隊員については、先天性免疫不全などによるワクチン接種ができない隊員を除き、全ての隊員が新型コロナウイルスワクチンを3回接種済であるとともに、防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を講じて参加
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる隊員が発生した場合は、PCR検査の受検、濃厚接触者と疑われる者の特定と隔離等を速やかに実施し、感染拡大を防止